

御参考

海軍功績調査部長殿

軍機秘

第十四戦隊機密第三二號

昭和十八年九月十七日

十月三日送付

知床救援任務報告

18.10.18  
接文

第十四戦隊司令部

# 一任務 知床救援作業任務報告

44機密第1206五六番電ニ依リ当隊(五十鈴丸)香取丸、  
 第31號駆潜艇、第3壽丸、第5玉丸、第8昭和丸、第3昭南丸、  
 第18號駆潜特務艇、第1號太平丸ヲ指揮シ、九月十二日  
 〇三三二、八度三三分北、一六五度三分東ニ於テ敵潜ノ雷敷手ヲ  
 受ケ航行不能、知床(第6一二三船團)ノ救援作業ニ任ズ  
 二經過概要

44 UNB 信電令第1號及第2號ニ依リ当隊、日枝丸八十二日  
 〇四〇〇クエゼリン<sup>1</sup>出撃、陸軍第1三聯隊ノ部ヲ<sup>1</sup>シレ<sup>1</sup>及  
 ウオツチエ<sup>1</sup>ニ輸送ノ途次、同日〇五〇〇<sup>1</sup>夕ナ<sup>1</sup>(出港ヲ見令<sup>1</sup>  
 速ニ般投セヨ)ニ依リ同日〇五五九<sup>1</sup>クエゼリン<sup>1</sup>ニ般着  
 44機密第1206五六番電ニ依リ知床救援ノタメ当隊(五十鈴丸)  
 十二日〇七四五<sup>1</sup>クエゼリン<sup>1</sup>発現場ニ急行ス、速力二十四節<sup>1</sup>

同日一五四〇、八度二四分北一六五度五分東ニ於テ富士川丸便來エ  
員一名救助同日一六三〇現場着

知床ノ船艦線ヲ境トシテ那珂ハ右側駆濬三十六左側ノ附  
近警戒敵濬掃蕩ニ当ル

一七五ヨリ那珂 駆濬三十一ヲシテ每一時間交互ニ脅威投射  
一個宛ヲ行ハシム

ハ 十三日〇〇三六知床ノ二八〇度一〇〇〇米ニ浮上濬水艦発見攻  
撃運動中〇〇一〇二八度二七五分北一六四度三七分東ニテ左舷  
艦首近距離ニ雷撃二本ヲ受ケタルモ雷跡那珂左舷約三  
十米ヲ通過シ被害ナシ、射兵附近ニ爆雷投射九個効  
果不明、〇四七再ビ雷撃一ヲ受ケタルモ水面跳出被害ナ  
シ射兵附近ニ爆雷投射三個効果不明

## 攻撃圖別圖(笈一)ノ通

駆濤三十一ヲシテ附近ヲ探信制圧セシム

〇八三〇 笈三壽丸、笈十八號 駆濤特務艇、笈一號 太平丸  
 未着、知床船艇<sup>源</sup> 右側 駆濤三十一、笈一號 太平丸

左側 笈三壽丸、笈十八號 特 駆濤三十一 附近ノ警戒掃  
 蕩ニ当ラシム

一三三〇 香取丸、笈五玉丸、笈八昭和丸、笈三昭南丸 未着  
 一三四〇 香取丸、知床ニ船索ヲ取り曳航準備ヲナス  
 各艦ヲ別圖(笈二)ノ警戒航行序列ニ占位セシム

一五〇〇 曳航開始一路「クエゼリン」ニ向フ途中、潜水艦ニ隻伏  
 在シオルコト確實ナリシヲ以テ北東方ニ向針「ルオット」經  
 由「クエゼリン」ニ向フ、状態良好

〇四三五(日出〇三五二)ヨリ一五一五(日没一六〇五)迄九五二空水

偵一機連続上空ヲ哨戒セリ

ハ 十四日〇七四五ヨリ知床推進器誘転ヲ始メ速力増加ス

速力<sup>約</sup>五節

一二四五 七〇五 空中攻ノ潜没潜水艦ニ投下セル発煙筒ヲ二五〇〇

米(真方位九〇度)ニ認メ現場ニ急行一三五 爆雷投射三個

効果不明 駆潜三十一ヲシテ一四三〇迄約一時間附近ヲ探信制

在セシム

一五〇ヨリ三十分毎ニ各敵警戒艇ヲシテカ警戒投射(各一個宛)

ヲ行ハシム

七〇五  
四三〇(日出〇三五〇)ヨリ一六二五(日没一五五八)九五三 空水偵及

中攻各一機上空哨戒セリ

四 十五日〇四〇〇(日出〇三三三)ヨリ七〇五 空中攻一機〇八〇ヨリ

零戦一機〇九四五ヨリ零戦二機増加上空哨戒セリ

三 天候・気象

（航路別図（第三））

一三四五「シル」水道通過一三〇〇無事「ルオツト」入泊セリ

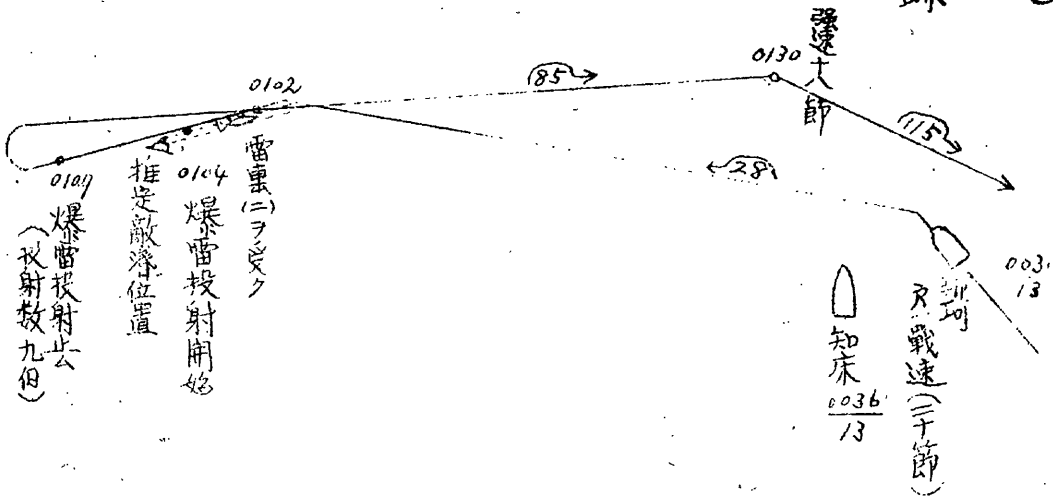
九一四			九一三			九一二			月日
一八〇〇	一二〇〇	〇六〇〇	一八〇〇	一二〇〇	〇六〇〇	一八〇〇	一二〇〇	〇六〇〇	時
薄曇	晴	快晴	薄曇	晴	晴	晴	晴	晴	天候
北東	南東	/	北東	北東	北東	北	東	北東	風向
三	二	/	四・五	四	五	九	五	七	風速
二九・三	二九・八	二八・六	二七・七	二九・〇	二九・〇	二八・五	二九・〇	二九・〇	気温
二〇	四〇	四〇	一〇	四〇	四〇	二〇	四〇	四〇	視界
極々滑カ	極々滑カ	穏カ	滑カ	極々滑カ	滑カ	少々波アリ	滑カ	滑カ	海上模様

10801

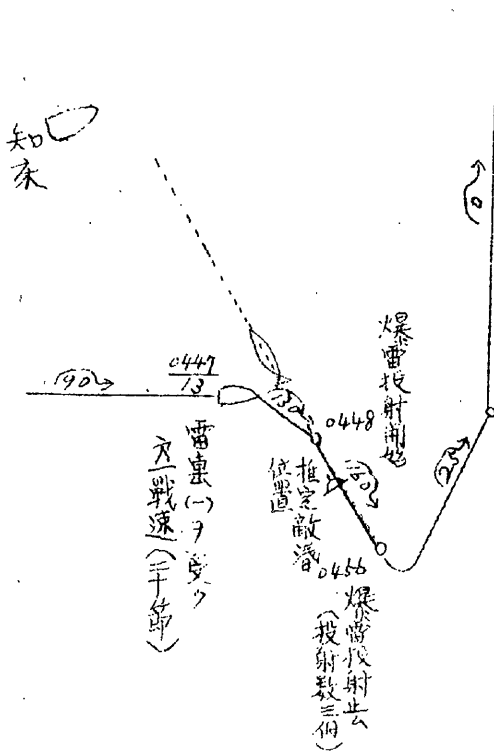
97

九 一 五	
一 二 〇 〇	〇 六 〇 〇
薄 曇	曇
南 東	東 北 東
五	三
二 八 八	二 八 〇
四 〇	四 〇
滑 カ	極 ク 滑 カ

別圖(第一)  
第一回  
赤線雷跡



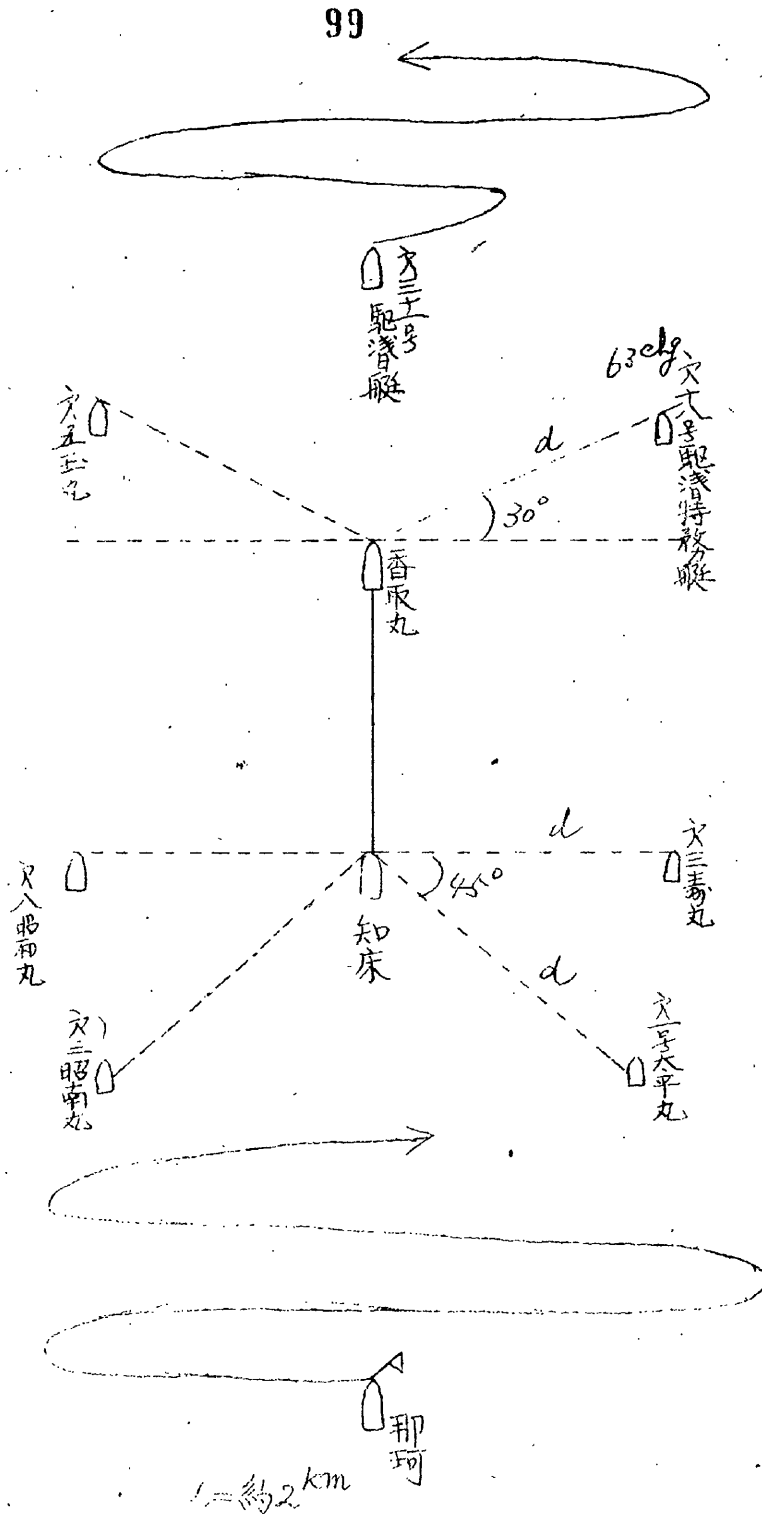
第二回





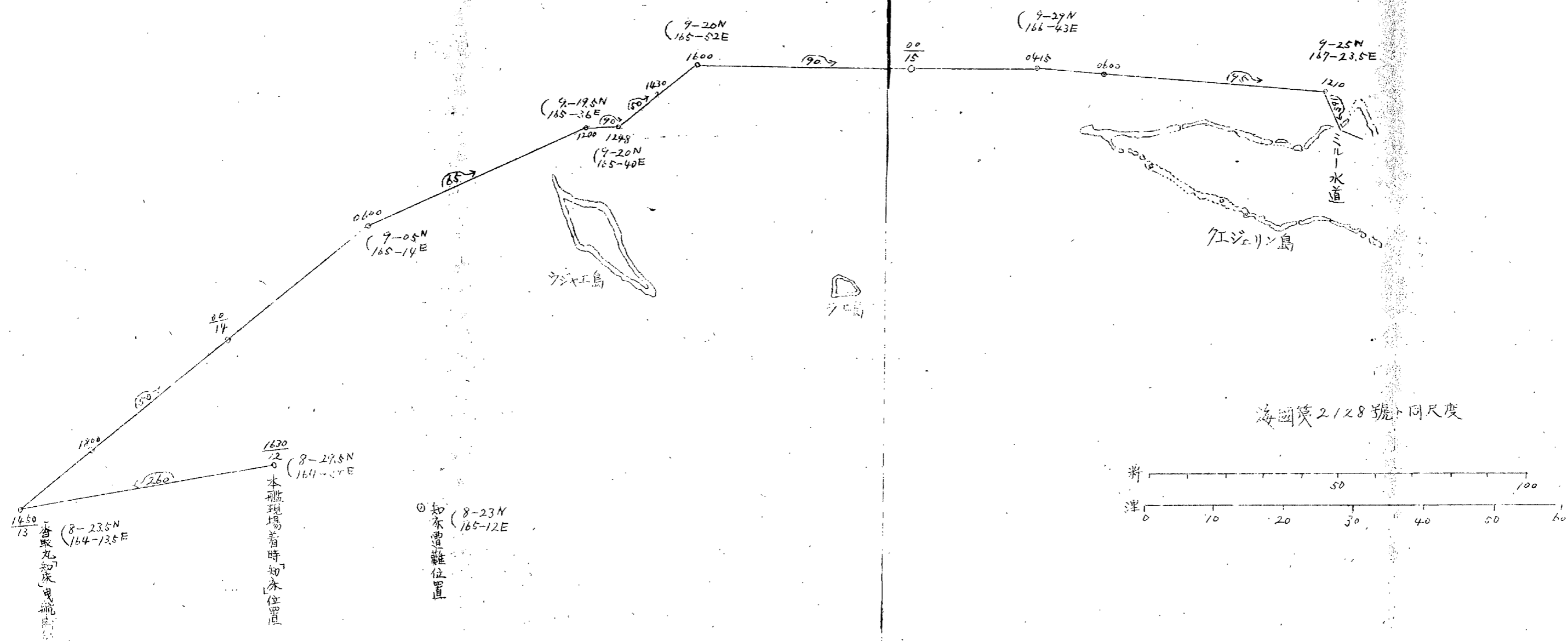
別圖(第二)

第二警戒航行序列



10801

別圖(箋三)  
航路



1084

101

〇九〇八

軍機秘

第十四戰隊機密第九號ノ七

十月三十一日送付

自昭和十八年十月三十一日  
至昭和十八年十月三十一日

# 第十四戰隊戰時日誌

第十四戰隊司令部

19. 1. 17

目次

- 一、 經過
- 二、 人員ノ現状
- 三、 令達報告等
- 四、 作戰經過概要

(目次終)

自昭和十八年十月三十一日  
至昭和十八年十月三十一日

第十四戰隊戰時日誌

一 經過

(一) 敵情

(1) 敵飛行機ノ日施哨戒ハ二段三段ト益增强嚴重トナリ亦潜水艦ヲ以テ通商補給路破壊特ニトラツク「ラバウル」間ニ於テハ南東方面ヘノ増援補給路遮断ヲ企圖シツツアリ

(2) 先月南鳥島「ギルバート」方面ニ未攻セル有カナル機動部隊ト同様ノ手段ヲ以テ本月六日早朝空母ニ、戦艦三、巡洋艦、駆逐艦十数隻ヨリナル敵ハ大鳥島ニ未攻戦爆聯合大編隊ノ飛行機ハ銃爆撃ヲ行フト共ニ艦砲射撃ヲ加ヘ潜水艦ヲ大鳥島方面ニ集中協力等敵ノ奇襲的攻撃ヲ

ハ其ノ都度成功シツツアリ

ハ大鳥島攻撃ヨリ前後シテ布哇方面及ソロモン列島線ノ連絡動行ハ愈々活潑トナレリ

(一)「ゴロンバンガラ」「ベララベラ」「モ」島ヲ占領セル敵ハ愈々「ボーゲンビル」島方面ニ積極的行動ヲ開始シ味方「ラバウル」ヨリノ増援補給ヲ破壊スベク出撃セル敵水上部隊航空部隊ハ味方部隊ト再三熾烈ナル戦ヲ交ヘタリ

(二)我が軍ノ状況

聯合艦隊ノ大部ハ「トラック」ニ在リテ防備警戒戦カラ充實シ南東方面「マシヤル」「ギルバート」方面ニ對スル備ヘテ固クセリ

南東方面部隊ハ屢々敵水上部隊、航空部隊ト

交戦之二打撃ヲ加ヘツツアリ

内南洋方面部隊ハ担任区域ノ防備警戒ニ任ズ  
ルト共ニ「マーシャル」「ギルバート」方面ニ未攻ノ敵ニ對  
シ邀撃配備ヲ固メ遺憾ナキヲ期シアリ

当隊ハ丁四號輸送部隊トシテ上海ヨリ南東方  
面へ轉進ノ陸軍第十七師團「ラバウル」へノ急速  
輸送ニ任ジ亦再度ニ旦リ損傷艦ノ救援任務ニ  
從事セリ

### (三) 作戦指導

(1) 当隊(五十鈴)ハF信電令第一七七號ニ依リ初  
風・海風ヲ併セ風早ニ救援任務ニ從事六日一  
五三〇トラック「發」七日二三四五「トラック」着

(2) F電令作箋七四六號及UNB電令作箋二九

號ニ依リ、第十四戰隊、栗田丸、朝風及甲支隊ヲ  
 以テ海上機動兵団(UKH)ヲ編成セラレ本職  
 指揮官トシテ八日一〇〇〇當隊(五十鈴欠)栗田  
 丸、朝風「ボナペ」ニ向ケ「ドラック」發(五十鈴ハ燃料  
 補給終了迄、第合同ノ予定)  
 「ドラック」ヨリ「ボナペ」ハ途中「F」電令作第七五  
 三號及UNB電令作第三三號ニ依リ海上機動  
 兵団ノ編成ヲ取止メラレ當隊(五十鈴欠)栗田  
 丸、朝風ハ八日一五三七反轉「ドラック」ニ敵投二三  
 〇PT着  
 (3) 五十鈴ハ「F」電令作第七六〇號ニ依リ敵着ノ雷  
 撃ヲ受ケ航行不能ノ間宮曳航ノ爲十二日  
 二三〇分分離現場ニ急行セシム



十五日一五〇〇五〇鈴ハニ海護電令作箋六三  
 號ニ依リ朝風丸曳航ノ間宮ニ合同同日二三  
 〇單独徳山ニ回航燃料補給  
 十六日四〇八廿電令作箋七六六號ニ依リ間  
 宮蔽言戒任務ヲ解カレ同日二三〇徳山發十  
 八日一七〇〇上海着当隊ニ合同  
 (4) 廿電令作箋七三八號ニ依リ下四號輸送部  
 隊編成セラレ本職指揮官トシテ当隊多  
 摩、木曾、四駆、十七駆、護国丸、清澄丸、日枝  
 丸、栗田丸ヲ指揮シ上海ヨリ南東方面へ轉  
 進ノ陸軍箋十七師因ヲ「ラバウル」へノ急速輸  
 送任務ニ從爭下四號輸送部隊箋一輸送  
 隊八十二日吳淞發二十一日「ラバウル」着箋ニ

輸送隊ハ二十一日上海發三十八日「トラツク」着  
筈三輸送隊ハ二十日上海發三十日「トラツク」着  
哨戒待機

哨戒

碇泊中

「トラツク」在泊中 筈三警戒配備特

上海在泊中 筈三警戒配備

航海中

左記ノ外 筈三警戒配備

日出(没)前(後)一時間 筈二警戒配備

十一日

〇六〇〇  
〇八〇〇 } 筈二配備

備考

右外各地在泊中警戒碇泊单独訓練

三一	三日									
三〇	土	〇八三〇	〇三三〇	〇三三〇						
二九	金	燃料補給	那珂	二九五丁	五十鈴	二九〇丁				
二八	木	一六〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二七	水									
二六	火									
二五	月									
二四	日									
二三	土	〇六三〇	〇多摩	PT着	多摩	PT着	木曾	丁	四	輸送部隊ヨリ除カル
二二	金	〇三四	八	栗田丸	敵	沈没	ノ	雷撃	ヲ	受テ沈没
		〇八四	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

(四)

麾下各艦ノ行動

二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
				●							月
		ト ラ ツ ク	航 海 中			ト ラ ツ ク			航 海 中		那
		ト ラ ツ ク		航 海 中		ト ラ ツ ク			航 海 中		珂
三	三	一	九	八	七	六	五	四	三	三	日
	●								○		月
		上 海		中		海			航		那
		上 海		航 海 中		德 山			航 海 中		珂
		上 海		航 海 中		德 山			航 海 中		五
		上 海		航 海 中		德 山			航 海 中		十
		上 海		航 海 中		德 山			航 海 中		鈴

人員ノ現状  
司令部

職員官氏名

職	司令官	参謀	同	附
主務官	少将	首席中佐	機関少佐	暗號兵曹長
氏名	伊藤賢三	藤田勇	池上峻	秦良夫
記事				

三	四	五	六	七

中海航

中海航

三	四	五	六
		●	

クツラト→

クツラト→

回麻毛下総員数

下士官兵及其他ノ員数

記事	員数		種別	區分	員数	區分	科	主計科	合計	記
	五十鈴	那珂								
十月	一六	二一	士官		五					
一日現在	二一	二一	特准		二〇					
	一三四	一三八	下士官							
	三二九	三四二	兵							
	四	三	備人							
	五〇	五二	合							
	四	五	計							

普電信一水  
普電信一水  
肺浸潤ニ依リ十月三日入院送籍  
三十一日東艦

四作戦経過概要 昭和十八年十月 第四艦隊第十四戦隊

	二		一		日							
	北 東 一五六二 一五五三		北 東 一五五三 一五九五		所在							
晴	二〇	二八一	曇	四〇	二七九	東北東 四	曇	〇六〇	〇三〇	〇一八	〇〇	氣象 天候、風向、風速 気温、視界(料)
薄曇	二〇	二八五	東三 曇	四〇	二八六	東四 東二	薄曇	〇三〇	〇一八	〇〇	〇〇	
薄曇	一〇	二七五	東三 曇	一〇	二八〇	東二	晴	〇一八	〇〇	〇〇	〇〇	
合					聯東						一般特別	
方					日枝丸、富山丸、指揮ヲ						任務任務	
					ルヨリドツクニ(UNB)電信令箋						主要行動	
当隊											主要作業	
日枝丸											記事	
											事	

六		五			四			三				
夕		ツ			ラ			ト				
薄曇		四〇	二九三	南五	晴	五〇	三〇九	/	晴	四〇	二八五	北四
晴		五〇	二九〇	南二	晴	五〇	二九五	西三	晴	五〇	二八七	南三
曇		二〇	二九五	兼二	晴	四	二八九	南々東三	曇	一〇	二八〇	北々東三
隊								艦部				
隊								ヤシー (号五)				
海風一三〇PT糸		多摩(支)輸送 五〇 徳山糸 八〇 佐世保着			宝洋丸ニ横付			富士山丸ヲ 卒ヒ一三二〇				
当隊(五十鈴)初		五十鈴一三〇PT			燃料補給			PT着				
揮下ニ入ル		初風海風ヲ指			部隊編成			丁四号輸送				



九	八				七					
ト	三三〇着	一五二五八	北七、八	一〇〇〇着	三三四五着				一六〇〇着	
晴	二〇	二八〇	南東三	曇	二〇	二七〇	北々東三	曇	四〇	二八五
晴	四〇	二八五	西四	薄曇	五〇	二八五	東三	薄曇	五〇	三〇五
策三四南	一〇	二八〇	東南五	曇	四	二七三	南々西二	曇	四	三四五

	海(FF) (UNB)	上電	機令	動	兵	因	務任援救早風	
	(号七七一令電信(FF))					(号六九)		
隊)一六三〇	木曾(笈輸送)	三三〇PT着	PD二向ケPT着	一五三七及転	二二〇PT着		二三四五PT着	風一六〇〇PT
燃料補給	「バーゲン」にて						風早東員	
							漂流中ヲ	
							收容(海風五)	
							四初風九八)	
							海上機動兵	
							國編成	
							栗鬼朝風	
							甲支隊ヲ指	
							揮下ニ入ル	
							海上機動	
							兵因編成	
							取止	
							風早救援	
							將旗ヲ一時五	
							十鈴ニ移揚	
							海風初風ノ指	
							揮ヲ解ク	

		二		一				
		東 七、二八 一五〇、三七	北 七、二八	四五〇系		ク	ツ	ラ
曼		四	南西四	曼	一〇	二八五	北三	薄曼
曼		四〇	南東四	曼	四〇	二九七	東二	薄曼
曼		一〇	南東五	曼	四	二七七	北一	曼
								四〇 五〇 二〇
								二八二 二九五 二八九
隊								艦
部								洋

七十隻(陸軍)隊部送輸号四丁リヨ日五  
(号八三七第作令電 GF)

第一輸送隊	多摩、木曾、 一〇四五吳松着	上海三向ケPT系	第一輸送隊	清澄丸、護国丸、小雲、口五〇〇	第十四戰隊	第三輸送隊	多摩、口七〇〇 佐佐保系	日向ケPT系	口六〇〇上海二	日枝丸、栗田丸	四駆(野分、舞風)	第三輸送隊	吳系
			搭載	人員物件	第一輸送隊								那珂一五〇丁 五十鈴五〇丁

一四			一三			一二		
東北 二六二七			東北 四三三三			東北 四五五七		
二〇	二七三	南々西 曇	四〇	二七八	北三 薄曇	四〇	二七〇	東五
四〇	二八二	南々西 晴	四〇	二八三	南々東 薄曇	四〇	二七〇	南四
二〇	二七五	北々東 晴	一〇	二七七	南東五 晴	四	二七三	北々西 四
十						第		
邀						隊		

送輸速急間RR至海上自因師

		一二〇〇吳菽 間宮救援ノ 夕メ文ニ輸送 隊ハ二三三〇五 十鈴ヲ分離 急行セシム

	一七 東北 三三、四九			一六 東北 二四、四 二六、三八			一五 東北 二〇、二四 二二、二二		
晴	一〇	二四、五	北東四 晴	二〇	二六、〇	北東五 晴	二〇	二七、三	南四五 晴
薄曇	四〇	二二、八	北東四 薄曇	四〇	二七、〇	北東五 晴	四〇	二七、〇	北東一〇 晴
薄曇	四〇	二二、三	北東六 晴	四〇	二六、五	北東七 晴	四〇	二七、〇	北東五 晴

戦部

四撃

右

同

笈輸送隊	着 山口三上海	笈三輸送隊	五十鈴三三〇 上海ニ向ケ	三三〇 徳山	徳山三三〇 燃料補給	三三〇 徳山三三〇 五十鈴ノ間	三三二〇五十五鈴 単独徳山ニ 回航
				三三〇 徳山	三三〇 燃料補給	三三〇 徳山三三〇 五十鈴ノ間	
				三三〇 徳山	三三〇 燃料補給	三三〇 徳山三三〇 五十鈴ノ間	

二			九			八		
海						上		
四	一六五	曼	一	一六五	晴	一	一七〇	南三
四〇	一九四	東二曼	四	二三五	晴	二	二二三	/
四〇	九二	東二曼	二	二三五	東三薄曼	四	二〇〇	東二
隊								
隊								

右

同

一四〇〇上海	笈三輸送隊	陸軍人員	燃料補給	五十鈴五四八丁	ケPT糸	笈一輸送隊	海陸軍輸送	協定書ニ調	印	陸軍人員物	件搭載	燃料補給	五十鈴五四八丁	上海着	三〇上海着	五十鈴一七〇	文二輸送隊	〇八〇〇PT着
糸	陸軍人員	陸軍人員	燃料補給	五十鈴五四八丁	陸軍人員物	海陸軍輸送	海陸軍輸送	協定書ニ調	印	陸軍人員物	件搭載	燃料補給	五十鈴五四八丁	上海着	三〇上海着	五十鈴一七〇	文二輸送隊	〇八〇〇PT着

	二三			二三			二二				
	北 二六、三三 東 一三一、三九			北 二七、三三 東 二五、五九			北 三三、六 東 三三、一				
晴	二〇	二三、八	北 八 東	晴	一〇	二九	北 八	晴	四	一七、七	薄曇
曇	四〇	二四、三	北 七 東	晴	四〇	三三、七	北 八	晴	二〇	二〇、〇	曇
曇	二〇	二五、〇	北 八 東	晴	二〇	二三、四	北 二	晴	二〇	二〇、五	晴
右											同
右											同
右											同

	多摩口六三〇 町着	丸敵着ノ 雷速ヲ受ケ 沈没	多摩口六三〇 丁四号輸送 部隊ヨリ 除カル	多摩口六四五 RR着 西口全隊 木曾二二三〇RR着 三輸送隊 口八四五上海 条	口〇四一 隊三アイランド 島セントジョージ岬 沖テ敵機ト 交戦 木曾爆 弾一命中
--	--------------	---------------------	--------------------------------	--	---

二七 北 一〇、二六	二六 東北 一四、三、六	二五 東北 一三七、三一 三八、五五	二四 東北 一三五、二一 二二、三
藁五 曇	四〇 二七、四 北藁六 晴	四〇 二八、〇 北藁九 晴	二〇 二五、五 北藁九 晴
藁八 曇	五〇 二九、〇 東北藁九 晴	四〇 二八、七 北藁一〇 薄曇	四〇 二六、六 北藁一〇 東
東六 晴	一〇 二八、五 北藁七 晴	一〇 二八、七 北藁九 晴	四 二七、四 北藁八 東
右			同
右			同
右			同


三〇		二九		二八			
ツ		ラ		ト		東 一四六四六	
二八二	東北東 三三	晴	四〇	二八二	兼三	晴	四〇
二九〇	東五	晴	四五	二九七	/	曇	五〇
二八〇	東六	晴	二〇	二八〇	西二	曇	三五
右							同
右							同
右							同
第三輸送隊 〇八三〇PT着						第三輸送隊 一六〇〇PT着	
				宝洋丸ニ核付 燃料補給 那珂三九五丁 五十鈴金剛ニ 核付二九〇丁			



備考  
 右ノ外各地碇泊中警戒碇泊単独訓練

三		
夕		
四 口	二 九 三	東 三 晴
五 口	三 〇 〇	東 四 晴
三 口	二 八 〇	東 四 晴
右		同
右		同
右		同

(終)